

当院で心不全の呼吸困難症状に対して医療用麻薬(塩酸モルヒネ)治療を受けられた

患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はありません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2013年9月～2026年3月の間に、当院に心不全加療目的で入院し、呼吸困難症状の緩和のために医療用麻薬(塩酸モルヒネ)の投薬を受けた方で、かつ緩和ケアチームの介入を受けた方

【研究課題名】

Stage D 心不全患者の呼吸困難に対するモルヒネ初期投与通常量群と低用量群の2群比較と患者・家族の経験の検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 看護部 副看護師長 河野 由枝

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、心不全患者さんの呼吸困難に対する医療用麻薬(塩酸モルヒネ)の有効性と安全性を明らかにすることを目的としています。モルヒネは、悪性腫瘍による症状緩和だけでなく心不全患者さんの呼吸困難に対して有効性が報告されていますが、悪性腫瘍患者さんに比べて効果や安全性に関するデータが少ない現状にあります。より多くの心不全患者さんに安全に使っていただくために、これまで当院で投薬を受けた患者のデータを分析したいと考えています。この研究の成果は、将来的に心不全の患者さまのモルヒネ投与の適正化とQOLの向上に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診療情報：年齢、性別、身長、体重、入院日、併存疾患、内服治療薬、点滴治療薬、オピオイド使用歴、心不全の入院回数、直近1年間の心不全入院回数、心不全と診断されてから

の年数、診断名、心不全の重症度（NYHA）、酸素の投与、バイタルサイン（モルヒネ使用前後の収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍数、呼吸回数、経皮的酸素飽和度、意識レベル、心臓超音波検査、血液検査（貧血、栄養状態、電解質、腎機能、肝機能データ、BNP（心不全マーカー）、呼吸困難の程度、モルヒネの投与に関する情報（投与量、投与経路、投与開始日、投与期間、副作用）、併用薬、最終観察（モルヒネ投与開始から 30 日目まで）の状態

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より 2028 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2026 年 6 月 19 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト（<https://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 看護部 副看護師長 河野由枝  
電話：06-6170-1070